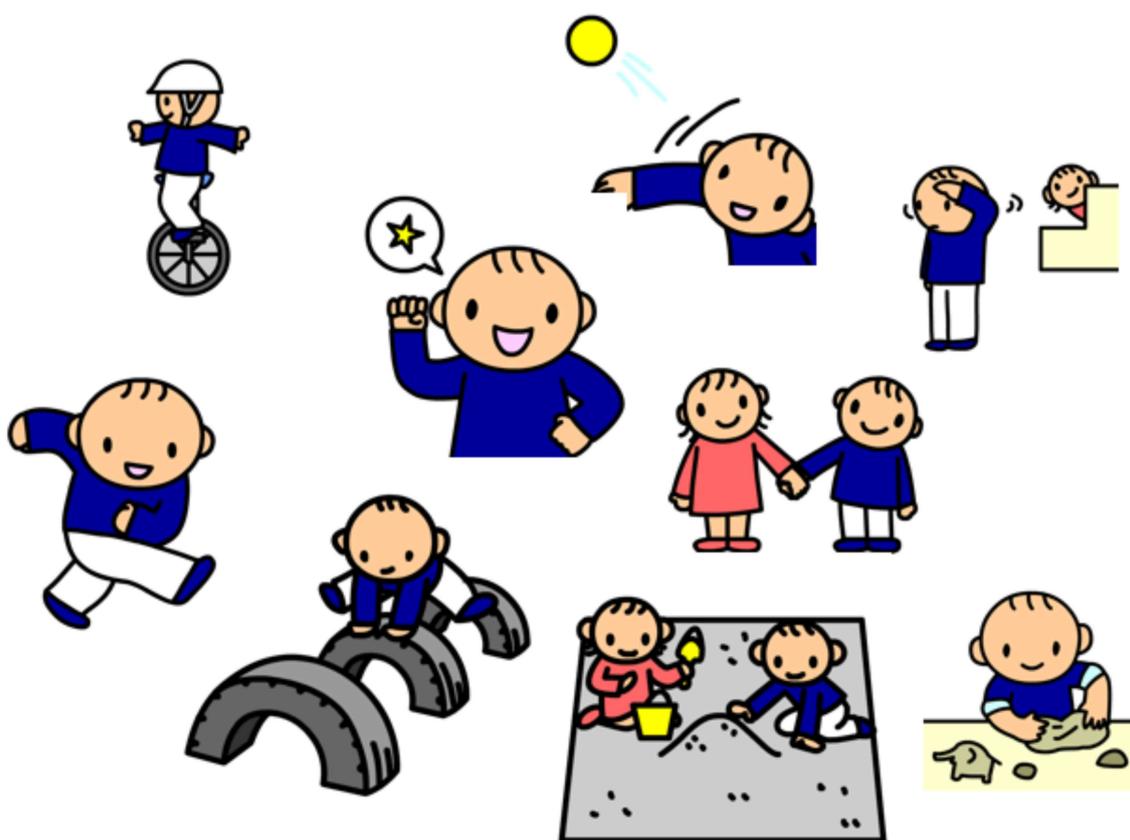


遊びの指導 指導内容段階表



令和元年 7月

大分大学教育学部附属特別支援学校

1. 「遊びの指導」の具体的な展開

(1) 授業の形態

『遊び』においては、一緒に遊ぶ友だちが、一人ひとりの子どもの遊びに与える影響が大きいので、友だちのかかわりを考慮した集団の編成が必要であると考えます。

「遊びの指導」の3つの授業の形態については次の通りである。

①学級遊び

学校生活における基本の集団であり、小集団での良さを生かしつつ、生活をともにする生活年齢の近い集団である。そのため、親近感をもって友達からの影響を受けやすく、社会的側面も育てやすい。学級においては、遊びの段階がⅠ～Ⅲ段階の子どもが混在しており、それぞれの段階に応じた活動内容を設定することで、各側面を指導しやすい集団と言える。学級遊びの設定については、以下の視点で行う

②グループ遊び

小学部の子どもの様子を見てみると、自発性、持続性といった態度面に課題がある子どもがいたり、態度面には課題がほとんどないが人のかかわりや工夫して遊ぶことに課題がある子どもがいたり、実態は様々である。そんな子どもたちにとって、グループ別の指導では、実態差の大きな集団では仕組みにくい遊びを取り上げられるよさがある。

③合同遊び

【学部合同遊び】では、小学部全体という大きな集団で遊ぶことにより、少人数の集団では経験しにくい遊びを取り上げることができる。高学年の子どもが低学年の動きをリードして協力するなど人のかかわりを多く持てるといった良さがある。

(2) 取り上げる素材(教材)と年間の配列について

①題材について

題材とは、指導内容と教材を子どもの実態などから検討し、子どもに指導するために一定のまとまりとしてとらえたものである。子どもが楽しんで取り組むために、その題材でそれぞれの子どもがどのような遊びをするのか、遊びを具体化していかなければならない。

②取り上げる素材(教材)について

本校では、集団で活動することが大切と考え、集団内の子ども同士のかかわりが持たせられるように、まず、集団で活動できる遊びを検討し、その後、集団の一人ひとりの発達段階や好きな遊びが設定できるように、一人ひとりの遊びを具体化するようにしている。

— 素材を選ぶ視点 —

- *家庭や学校など、子どもの身近にあり、手に入れやすいもの
- *機能・用途が限られていないものでいろいろな活動ができるもの
- *子どもがよく知っていて、興味・関心を引きやすいもの
- *操作が簡単にできるもの

【表：素材一覧表】

物とのかかわり	水、砂、土、紙、絵の具、粘土、積み木(ブロック)、ボール、缶、箱(空き箱、段ボール)、ひも(ロープ)、乗り物(三輪車、自転車)、固定遊具(滑り台、ブランコなど)、楽器など
人のかかわり	社会の様子 学校、家庭(お父さんやお母さんなどの人、お風呂や台所)、お店、レストラン、遊園地、乗り物(バス、電車、電話、宅急便、タクシー)、劇遊び、探検ごっこ など
	ゲーム かごめかごめ、あぶくたった、ロンドン橋、花いちもんめ、鬼ごっこ、しっぽ取り、おおかみさん、むっくり熊さん、ボウリング、円形ドッチボール、ゴルフ、サッカー、風船バレー、椅子取り(輪取り)ゲーム、フルーツバスケット、玉入れ、仲間作りゲーム、綱引き など

③題材(素材)の年間の配列について

年間指導計画を作成までは、1年後の姿を想定した子ども像(年間に指導する指導内容)や選択した教材(遊び)をどんな授業の形態で指導するのかを検討し、1年間の望む姿を想定する。

取り上げた教材(遊び)が複数ある場合には、年間を通してどんな流れで指導するのか、つまり年間にどのような順番で指導するか決めなければならない。配列する際には、以下のような視点に留意するようにする

配列の視点

*季節を考慮して、遊びを位置づける

- ・教材(遊び)によっては積み木遊びのように年間のどの時期に扱ってもよいものと水遊びのように遊びによって季節とのかかわりも大きい

*学校・学部行事と関連を考慮して位置づける

- ・経験したことを遊びに取り入れられるように、行事との関連を考える

*年間を通して遊びの高まりを考えて、位置づける

- ・たとえば、ボール遊びは日頃からする機会が多いため積み木遊びよりも関心が高いとか、ボール遊びの中でも、蹴る遊びよりも投げる、転がすの方が活動しやすいなど、選択した遊びの中でも関心の度合いや、活動の難易がある。年度の始めのころは、活動も簡単で関心の高い遊びから取り上げ、次第に遊びが高まるように位置づける

*次の題材へ自然に移れるように、教材(遊び)のつながりを考慮して位置づける

- ・子どもの自然な遊びの移り変わりを大切にして、できるだけ遊びがとぎれることのないように教材(遊び)のつながりを考えて位置づける

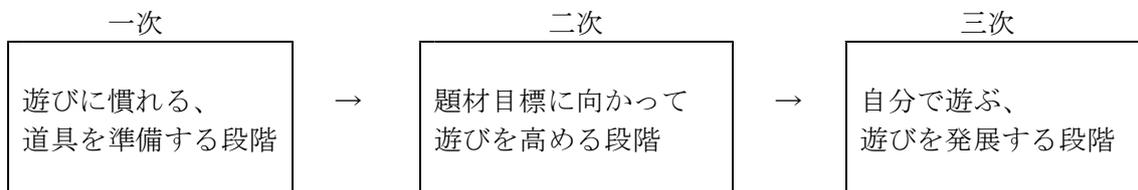
(3) 題材の具体的な展開

①題材計画について

「遊びの指導」の題材計画は、題材を通して子どもができるだけ自分で遊ぶようになるための過程で、知らせたいことや身につけさせたいことなどを各時ごとに整理した筋道である。

記述にあたっては、「どんな内容を」「どんな筋道で」「どれだけの時間をかけて」指導するかがわかるようにする。

【題材計画の構成】



②一時間の授業の流れについて

一般的に、1時間の学習展開を表すとき、「導入」「展開」「発展」「終末」の考えで行うことが多い。

「遊びの指導」では、子どもが部屋に入って遊びと出会う場面を「であい」、遊びとかかわり始める場面を「ふれあい」、遊びが発展していく場面を「広がり、深まり」と呼んでいる。1時間の授業の展開の中で、子どもによっては、遊びを変えながら繰り返されていくのである。

2. 「遊びの指導」で指導する内容

【遊びの指導】で指導する内容は、具体的には次の様に整理・分類した。

- ①態度的側面 (自発性、持続性など。態度的側面は他の活動の支え、基盤となるもの)
- ②社会的側面 (交遊の広がりやルール・約束の遵守など友だちや教師とのやり取りから学ぶもの)
- ③運動的側面 (柔軟性、平衡性、協応性、敏捷性など身体全体を動かすことで学ぶもの)
- ④知的側面 (物を触る、まとめる、壊す叩くなどして観察したり、赤と白などの色や丸と四角などの形を見分けたりして学ぶもの)
- ⑤情緒的側面 (育つ快・不快、満足感、成就感などの感情である。上記の他の側面が高まることで結果として育つものであり、直接指導する内容として標記しない)

① 態度的側面

	I	II	III
自発性	・遊び道具を受け取って、仕方をみたり、指示を聞いたりして活動する	・側らにある遊び道具を取って、仕方をみたり、指示を聞いたりして活動する ・側らにある道具を取って、活動する	・「××があるよ」などの声かけを聞いて、活動する ・自分から道具を取って、活動する
持続性	・興味のある遊びを 10 分くらい続けて活動する	・興味のある遊びを 20 分くらい続けて活動する	・興味のある遊びを 30 分くらい続けて活動する

② 社会的側面

	I	II	III
交遊の広がり	・教師とやりとりなどをして遊ぶ	・仲のよい友だちや数人の友だちとやりとりなどをして遊ぶ	・多くの友だちとやりとりなどをして遊ぶ
ルール・約束の遵守	・教師の指示や合図に従って遊ぶ	・簡単なルールのある遊びをする	・グループを作り、ルールを守って遊ぶ
意志の伝達	・教師にしてほしいことを身振りや声で要求する	・したいことや欲しいものを動作や言葉で要求する	・自分の思っていることを友だちに伝えたり、教師と一緒に話し合ったりする
協力	・教師や友だちと手をつないで一緒に活動する	・役割を分担したり、交代したりして、教師とやりとりをしあって活動する	・役割を分担したり、交代したりして、友だちとやりとりをしたり、助け合ったりして活動する

③ 運動的側面

	I	II	III
柔軟性	・体の部位を曲げたり、伸ばしたりして活動する	・全身を使って曲げたり、伸ばしたりして活動する	・全身をなめらかに曲げたり、伸ばしたりして活動する
平衡性	・乗り物に座って乗ったり、両足で跳びはねたりしてバランスをとって活動する	・バランスのとりやすい乗り物に乗ったり、台の上を移動したり、両足や片足で前に移動したりして、動きの変化に合わせてバランスをとって活動する	・乗り物を操作しながら乗ったり、高いところや狭いところを移動したり、両足や片足で跳びはねて方向を変えて移動したりして、急激な動きの中で方向を変えたりしてバランスをとって活動する
協応性	・自由に手を使って、いろいろな活動をする	・方向を変えたり、道具を用いたりして、手を使った活動をしたり、足を使って自由に活動したりする	・手や足を使って方向や力の強弱をつけて活動したり、相手やものの動きに合わせて活動したり、手と足を同時に使って道具を操作して活動する
敏捷性	・合図に合わせて、動き始めたり、止まったりしながら方向を変えて活動する	・相手やものの動きに合わせて、早く動き始めたり、止まったりしながら、速度の調節や方向転換をして活動する	・相手やものの動きに合わせて、素早く動き始めたり、止まったりしながら、速度の調節をしつつ方向転換をして遊ぶ

④ 知的側面

	I	II	III
観察	<ul style="list-style-type: none"> 物を触る、まとめる、壊す、たたくなどして音を出したりする 	—	—
弁別	<ul style="list-style-type: none"> よく使う物の名前を言うとき指さしたり、赤と白などの色や丸と四角などの形を見分けたりする 	<ul style="list-style-type: none"> 見慣れた物や動物、乗り物の名前を言ったり、いくつかの色や形を見分けて選び出したり、違いの大きさや量を見分けていたり、尋ねられると「マル、バツ」で答えたりする 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな物を仲間ごとに分け、その名前を言ったり様々な色や形を見分けて選び出したり、大小や量を比べたり、簡単な勝ち負けの判定をしたりする
対応	<ul style="list-style-type: none"> 同じ物を一緒にしたり、人に一つずつ物を配ったり、簡単な指示に答えたりする 	<ul style="list-style-type: none"> 同じ色、形の物を集めたり、いくつかの物を一つずつ配ったり、役柄の中で簡単な問いに答えたりする 	<ul style="list-style-type: none"> 同じ種類の物を集めたり、役柄に必要な道具を用意したり、役に応じた台詞で答えたりする
模倣	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な動き、言葉や物の並べ方や積み方をまねる 	<ul style="list-style-type: none"> 人や動物の動きや言葉を繰り返してまねたり、簡単な形をまねて作ったり、描いたりする 	<ul style="list-style-type: none"> いくつかの動きや台詞を順番にまねたり、意味のある形をまねて作ったり、描いたりする
創作	<ul style="list-style-type: none"> 砂を盛って山を作ったり、丸めた粘土や段ボール箱、積み木を団子や乗り物に見立てて、簡単な動作や言葉をつけて活動したりする 	<ul style="list-style-type: none"> 同じ形を並べて何かを作ったり、表現遊びで架空のものになり動作をしたり台詞を言ったり、簡単なごっこ遊びで決められた役になって活動したりする 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな形を組み合わせで物を作ったり、表現遊びでいろいろなものになったり、ごっこ遊びで道具や場面を作ったり、役や台詞を考えたりして活動する